

令和6年3月15日

保護者の皆様へ

廿日市市立大野東小学校
校長 谷本 直子

令和5年度廿日市市学力定着状況調査の結果について

廿日市市では4学年を対象に学力定着状況調査を1月15日に行いました。それに合わせ、本校では全学年で国語・算数の2教科の学力調査を行いました。

結果の分析をし、課題となった問題については、3月の学年のまとめとして補充学習を進めてきました。本年度の学習指導の成果と課題を踏まえ、来年度の教育に積み上げていきたいと考えています。お子さんの個人票とあわせ、ご覧ください。

各学年の結果【 正答率(%) 結果の分析○ 今後の取組・ 】

<第1学年>

	本校	廿日市市	全国
国語科	76.3%	77.1%	74.8%
算数科	81.2%	82.7%	78.2%

○国語科・算数科ともに基礎的な学力は概ね定着しています。

○国語科では、語彙が少なく言葉の意味を正しく理解できないことに加え、知らない言葉の意味を前後の文章から推測することに課題があります。

○算数科では、特に図形と文章題に課題があります

・「指で計算しないで即座に答えが言える」「初めて見る文章を単語の塊でスラスラ読む」など基礎的な力を更につけていけるよう、くり返し練習していきます。

・国語科・算数科ともに・語彙を増やすために、言葉遊び・言葉集め・読書などに取り組んでいきます。

・実際に積み木や箱に触れさせて、多面的に形を捉えることができるようにしていきます。

<第2学年>

	本校	廿日市市	全国
国語科	82.2%	82.3%	79.3%
算数科	77.9%	78.6%	73.1%

○国語科・算数科ともに、基礎的な学力は概ね定着しています。

○国語科では、漢字の正しい筆順、情報と情報の関係の理解(メモと説明文章の比較)に課題がありました。

・漢字の書き取りの復習、メモをもとに文章を組み立てて書く指導を行いました。

○算数科では、かさの単位の表し方や大小、活用問題(情報の収集・問題把握)に課題がありました。

・かさの復習、文章問題では、キーワードに線を引く、絵や図にかく等、問題把握に重点を置いて指導しました。

・漢字や数量の単位など、日常生活の中でも使えるよう、継続して指導していきます。

<第3学年>

	本校	廿日市市	全国
国語科	69.2	68.9	68.4
算数科	72.5	74.2	69.9

○国語科では、「自分の考えを理由とともに記述する問題」の正答率が全国平均点より10点以上高いです。しかし、「漢字の書き取り」や「行動や様子を表す言葉を正しく選ぶ」などの問題の正答率が低く、語彙力の低さが見られます。大事な言葉に注目して文章を読み取ることも苦手です。

・新出漢字の学習において国語辞典を効果的に活用し熟語を調べる中で、語彙を増やしていく活動を継続して行っています。

○算数科では、「計算の仕方や式の意味を説明する問題」の正答率が全国平均点より約5点以上も高いです。しかし、十進位取り記数法の仕組みを十分理解できていない児童が多いです。基礎的な四則計算においても誤答が見られます。

・計算する力を伸ばすために、繰り返し練習したり答えを確かめさせたりする習慣を身に付けさせるよう指導します。

○生活経験の少なさが問題場面の理解ができない要因なのではないかと考えます。

・具体物の使用を増やしたり、他教科と関連させて問題場面の把握ができるように指導します。

<第4学年>

	本校	廿日市市	全国
国語科	69.1	69.1	64.2
算数科	62.2	66.2	64.8

○国語科では、多くの問題で全国の正答率を上回っていますが、「漢字辞典の使い方を理解している」と、「叙述をもとに段落相互の関係を捉えている」の正答率が低くなっています。

・他教科の学習で扱った言葉に使われている漢字を辞典で調べ、言葉の理解を深めさせます。

・漢字の小テストを日々行って習得ができるようにしていきます。

・物語文の学習の時、意味段落ごとに内容を要約させる活動を通して、叙述を正しく読み取ることができるようにします。

○算数科では、小数、わり算、大きな数などの学習内容に課題が見られます。特に、「垂直・平行と四角形」の正答率が全国平均よりも低くなっています。

・いずれの学習もドリル学習アプリを活用して、以前の学年までの復習をさせることで、既習事項の習熟を図ります。

・授業で、作図をすることや図の説明を言語化することに繰り返し取り組ませます。

<第5学年>

	本校	廿日市市	全国
国語科	72.1	73.3	69.9
算数科	55.6	60.6	58.3

○国語科では、修飾語や敬語など言語事項の定着に課題があります。また、条件のある中で自分の考えを根拠をもとに書くことにも課題があります。

・修飾語や敬語、主語述語など言語事項の練習問題を定期的に行い、定着を図ります。

・説明する際には、簡潔に分かりやすく理由を明確にして説明できるよう指導していきます。

○算数科では、小数のかけ算・わり算、異分母分数のたし算・ひき算など基礎的な学習内容の定着に課題があります。また、小数のわり算の計算で文章をもとに線分図に表すことに課題があります。

・毎日の学習の中で、引き続き基礎的な内容の定着を図るとともに、文章題を解く際には、関係図や線分図に表し、課題を解いていきます。

<第6学年>

	本校	廿日市市	全国
国語科	66.9%	67.7%	66.6%
算数科	70.5%	73.3%	73.8%

○国語科では、説明文の読み取りにおいて、文章構成を考えて要旨を読み取ったり、情報と情報の関係を理解して文章の情報を整理したりすることに課題があります。また、条件に合わせて自分の意見を文章に書くことにも課題があります。

・説明文単元では、キーワードを元にして文章構成図に表し、段落と段落の関係を整理して丁寧に読み取っていきます。また、要旨について、文章に書かれていることをそのまま抜き出すのではなく、自分の言葉にまとめ直す活動を仕組みます。

・意見文を書くときだけでなく、感想文や文章を読み取ったことを文に表すときに、キーワードを与える、文字数や段落数を指定するなど、条件を与えて文章を書く時間を仕組みます。

○算数科では、分数のかけ算・わり算、比と比の値、対称な形に課題があります。

・分数のかけ算・わり算では、「真分数÷真分数×仮分数」のような乗法・除法が混ざっている計算は引き続き反復練習をしていきます。また、どの単元でも図と式、言葉を対応させて考えさせることを徹底させていきます。

・図形では、線対称・点対称の作図をしながら、対応する辺や点を理解し、解決を図るよう指導していきます。